

新倉ふるさと民家園は、およそ300年前（江戸時代中期）に創建された和光市指定文化財「旧富岡家住宅」を移築復元したものです。埼玉県内でも最古の部類に入る歴史的価値の高い建造物です。当時の伝統文化を伝える、さまざまな季節ごとの行事やイベントが行われています。また、民家の前庭では昔ながらの懐かしいおもちゃで遊ぶことができます。



↓屋根棟（くれぐし）

一番痛みやすい屋根の頂部を風雨から守るために頂部に土を入れて、芝やユリ、アヤメなどの乾燥に強い植物を根付かせ屋根を守る棟の造りです。



↓漆台湧水：湧き水の前には庚申塔が立っています。腕が6本あり両足で邪気を踏みつけています。塔の台座にはおなじみの三猿も彫られています。

↓谷中川：水源は大泉中央公園、和光樹林公園と言われ、古民家園のそばを流れて越戸川に合流します。

